

模試の本当の役割と有効活用法

模試の本当の役割とは？

模試の本当の役割とは何だと思われませんか？多くの受験生の中でいかに良い順位をとることでしょうか。みなさんは、模試を選択されるとき1つの要素として受験者人数をお考えになると思います。確かに受験者数は一つの重要な要素であるとは思いますが、絶対条件ではありません。絶対条件は、その模試が本当に生徒の役にたつ内容になっているかです。模試によっては、何年間も同じ問題が出されたり、過去の学調、入試問題を改題したものだけだったりといった模試もあります。21世紀模試は、昨年立ち上げたばかりで受験者人数はまだまだ少ないですが、問題作成、内容校正は、現場に立っている塾の先生がしていますので内容には絶対の自信があります。是非一度、弊社の21世紀模試を受験してみてください。きっとご満足していただけると思います。

模試の有効活用法

みなさんは、模試を合格判定するためだけの道具に使っていませんか？模試の結果で一喜一憂していませんか？模試の結果は所詮模試の結果でしかありません。模試でどんなに良い結果をとっても、本番の入試で納得する得点が取れなければ意味がありません。模試を実施する本当の意義は、模試の結果を正しく分析し、生徒の弱点を見つけ、弱点を補強していくことにあるのではないのでしょうか。そのため、弊社では、本問である当日の模試の問題はもちろんのこと、類似問題に他の模試では取り入れていない方法を取り入れています。それは、類似問題の基本問題は、本問の改題にしてあることです。他の模試の類似問題を見てみると、類似問題といいながら、まったく問題内容が違っていたり、過去何年間も同じ問題を使用したりしている模試もあります。このような模試は、ただ問題を多く解かせれば良いと考えているとしかありません。元々良い点数を取っている生徒にはそれでよいかも知れませんが、その教科を苦手に行っている生徒にとっては、問題が少し変わっただけでもまったく解けない問題になってしまいます。そこで、弊社の21世紀模試は、類似問題集の基本問題は、当日の本問を改題してあります。当日の問題で間違えた箇所を解説をよく読んで理解してから、基本問題をやれば、本当に理解したかどうか分かるシステムになっています。本当の模試の役割は、模試によって本当の実力をつけていくことにあるはずで、弊社の模試は、このことを踏まえて作成していますので模試を実施したあとに本当の実力がつく模試をいえます。